

GRAND CYCLE TOKYO 実行委員会 第8回 多摩専門部会
議事要旨

日時：令和7年4月25日(木) 午前11時から午前11時30分まで

場所：都庁第一本庁舎19階19B会議室及びオンライン

1. 開会

2. 報告事項

(1) 交通規制の概要について

- ・4月21日にTHE ROAD RACE TOKYO TAMA 2025の開催に伴う交通規制についてプレス発表した。
- ・前回大会の課題を踏まえ、関係者との調整のもと、交通規制の対応方法を検討した。
前回大会における1点目の課題として、地域生活・商業活動等への影響があった。今回の改善策として、レースの開始時間を約1時間半前倒しし7時30分とすることで、多くのエリアで休日における市民生活等の行動開始時間前に交通規制を解除する。また、横断ポイントの箇所を約2倍に増強することで、交通渋滞や歩道上の混雑を緩和する。さらに、前回大会とは異なり男女別々のコースにすることで、基本となる交通規制時間を約150分から約110分に短縮する。
- ・前回大会における2点目の課題として、交通規制広報があった。今回の改善策として、広報を拡充することでより精度の高い広報を実施する。主な具体例として、ポスター・チラシについて、日常生活で目に触れる機会が多い沿道事業者等へ掲出するとともに、沿道自治体とも連携し丁寧な周知を実施する。ポスティングについて、コース沿道や住宅密集地等を重点エリアとした配布を実施する。電車広告について、電車内ポスター広告掲出を行うとともに、駅貼りする駅数を拡大する。また、新しい取組として、TVCMにて大会告知と合わせ交通規制情報も告知する。サンプリングについて、駅数を増強し周知します。TVミニ枠について、テレ朝のミニ枠番組により大会及び交通規制を周知する。あわせて、Youtube、SNSについて、インフルエンサーによる大会周知、大会オリジナルのSNSを立ち上げ周知する。
- ・次に、交通規制の大きな考え方について説明する。1つ目、コース及びコースに接する道路を規制する。2つ目、一線規制区間とするコースは、原則大会関係車両以外は通行禁止とし、道路の形状により資料記載の図のように規制区間を設定する。片側1車線道路の場合は、両側車線をコ

ースとし規制する。中央分離帯がある片側 2 車線以上の場合は、片側車線のみをコースとし規制する。ただし、中央分離帯がない片側 2 車線以上の場合は、両側車線を規制する。3 つ目、二線規制区間とするコースに接する道路は、エリア内の居住者、施設利用者は通行可能するが、安全対策のため、誘導員や資機材を配置し、コースへの車両侵入を防止する。

(2) エリート男子の出場チームについて

- ・エリート男子について、海外チーム 8 チーム、国内 9 チームと出場に係る調整を進めている。今後、出場チームについて、決定次第、大会ホームページにて順次発表する予定。

(3) 令和 7 年度 GCT アンバサダーについて

- ・昨年度に引き続き稲村亜美さんと武井壮さんを起用する。お二人には 2023 年からアンバサダーとして、SNS での情報発信やイベント出演等により、GCT 認知度向上に寄与いただいております、引き続き、GCT の顔として事業 PR にご協力いただきたいと思います。
- ・また、5 月 4 日より、テレビ朝日で THE ROAD RACE TOKYO を PR する地上波ミニ枠番組を放送する。時間は毎週日曜日の 11 時 45 分～11 時 50 分で、全 9 回の放送を予定している。

3. 閉会